

ADC からのお知らせ No.181 (2011/06/20)

ana04,05 のシステムハング問題について
天文データセンター解析システムのユーザーの皆様

ana04,05 のシステムハング問題に関する中間報告をご連絡します。

これまでの調査の結果、ana04,05 で発生したシステムハングの原因はハードウェア側の障害ではなく、ソフトウェア側の問題である可能性が高いことが分かりました。

具体的には、Mathematica (Math カーネル) が大量にメモリを消費してメモリ枯渇に陥り、システムハングが発生したと予測されます。ただし、上記のような状況は Mathematica を使用した場合に必ず発生するものではなく、何らかの発生条件があると思われます。

現状では /usr/local/bin/math (math 8.0) の使用時に同現象が発生しています。他のバージョン (/usr/local/bin/math[6,7]) や GUI (/usr/local/bin/mathematica) では確認されていません。

しかしながら、まだ発生条件の特定まで至っておりません。調査を急いでいますが、今後もユーザの皆様にご不便をおかけすることがあるかもしれません。どうかご理解ご協力をお願いします。また原因の特定作業が進まず、ご連絡が遅くなってしまったことをお詫びいたします。

以下、今後の対応についてご説明いたします。

1. ana04,05 について

システムハングの原因がハードウェアの問題ではなかったため、ana04,05 については、本日 15:15 に no login 設定を解除しました。

2. Mathematica の使用について

メモリ大量消費について、発生条件が特定されていませんが、Mathematica の使用を制限あるいは禁止するのは、ユーザの皆様への影響も大きいと考えましたので、現時点では特に制限を設けません。

同問題の根本解決に向けて急ぎ調査しますが、今後もシステムハングが頻発するようならば、Mathematica の使用に何らかの制限（使用メモリ量の制限）や使用禁止の処置をとる可能性があることをご了承ください。

Mathematica を使用した際に、何らかの不具合等を感じましたら、どんな些細なことでも構いませんので、consult_[at]_adc.nao.ac.jp ([at] を @ に変換) までご連絡ください。

皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。